

第47回 青梅産業観光まつり

開催実績報告

① 日時

平成**26**年
11月1日(土)・2日(日)
午前**10**時～午後**4**時

② 来場者

()内は前年実績

| | 天候 | 来場者数 |
|-------|-----------------|------------------|
| 11月1日 | 曇のち雨 (晴のち曇り) | 10,000名(20,000名) |
| 11月2日 | 晴 (晴一時雨) | 23,000名(23,000名) |
| 合計 | —— | 33,000名(43,000名) |

去る11月1日(土)、2日(日)に「第47回青梅産業観光まつり」を開催しました。会場には84の店舗や団体が出店したほか、ロボット乗車体験、青森県・福島県・気仙沼市の東北物産販売、理科教室(すもうロボット工作・スライム作り)、伝統産業展(木工広場、貼り絵)、観光展、ご当地グルメ(焼きまんじゅう・トウキョウX肉うどん)、スタンプラリーなど会場はお祭りムードとなりました。2日間合わせて、会場には、およそ33,000名が来場され、幼稚園児によるマーチングバンドやマスゲーム、梅干しのタネ飛ばしイベント、列車戦隊トッキュウジャーショーなどにより会場は賑わい、活気が溢れていました。



【主催】青梅市、青梅商工会議所、(一社)青梅市観光協会

【協賛団体】青梅市商店会連合会、青梅織物業(協組)、青梅染色工業(協組)、青梅織物産地卸商業(協組)、東京都森林組合、東京都自動車整備振興会大多摩支部、青梅市農業振興団体連絡協議会、西東京農業(協組)、青梅市たばこ税増収対策協議会、青梅市市民のくらし展実行委員会、青梅小売酒販組合、青梅東小売酒販組合、東京青梅ロータリークラブ、(一社)青梅青年会議所、東京青梅ライオンズクラブ、青梅食品衛生協会、三ツ原工業会、青梅市みどりと水のふれあい事業推進協会、(福)青梅市社会福祉協議会、青梅IT事業者(協組)

【協力団体】青梅消防署、青梅交通安全協会、青梅市消防団

第47回 青梅 産業観光まつり

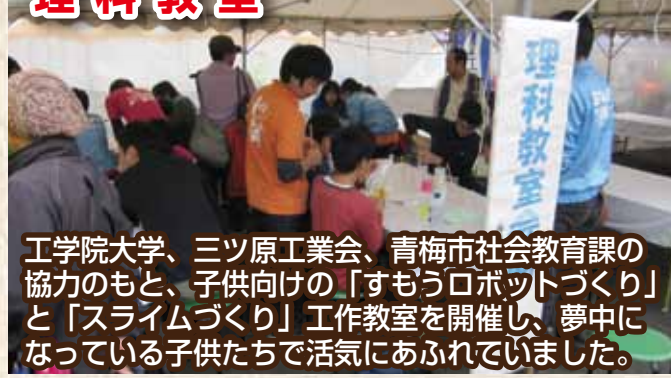
主な事業

ロボットひろば



電気通信大学、成蹊大学の協力のもとシニアカーをベースにした「自律走行ロボット乗車体験」と、人の後に追従する「カルガモ走行ロボット」の体験が子供に人気でした。

理科教室



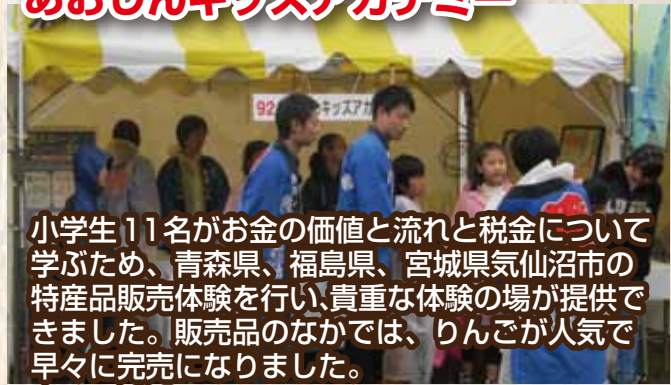
工学院大学、三ツ原工業会、青梅市社会教育課の協力のもと、子供向けの「すもうロボットづくり」と「スライムづくり」工作教室を開催し、夢中になっている子供たちで活気にあふれていました。

東北復興応援コーナー



青森県、福島県、宮城県気仙沼市の特産品販売を行い、完売した商品が多数ありました。

あおしんキッズアカデミー



小学生11名がお金の価値と流れと税金について学ぶため、青森県、福島県、宮城県気仙沼市の特産品販売体験を行い、貴重な体験の場が提供できました。販売品のなかでは、りんごが人気で早々に完売になりました。

ご当地グルメコーナー



食べ物コーナーにトウキョウ肉うどんと焼きまんじゅうを出店し、多くの来場者が並び好評でした。

梅干しのタネ飛ばしニアピンコンテスト



(一社) 青梅青年会議所の協力のもと、梅干しのタネをピン近くに飛ばすニアピンコンテストをおこない、好評でした。

伝統産業展



青梅市内の伝統工芸をパネルで紹介したほか、木工製品工作・貼り絵工作・組紐美演・繊維製品の展示をおこない子供たちの興味をひきました。

観光展



青梅市内観光協会・各種団体（杉並区・東京都島しょ等）のPRコーナーとして設置したところ、観光スポットに興味をもたれた方々が、資料などを入手していました。